

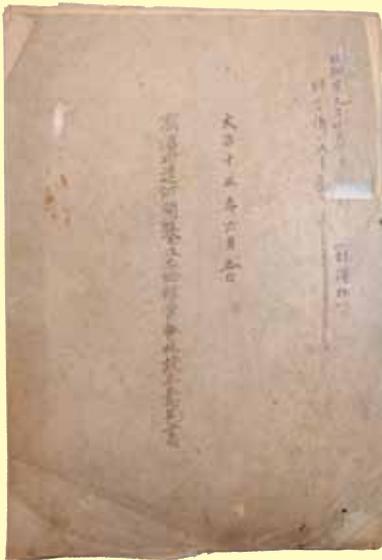
市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。  
編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介します。「こんなこと知っている!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、お寄せください。

Takahama-city Archive  
**たかはま**  
**アーカイブ**

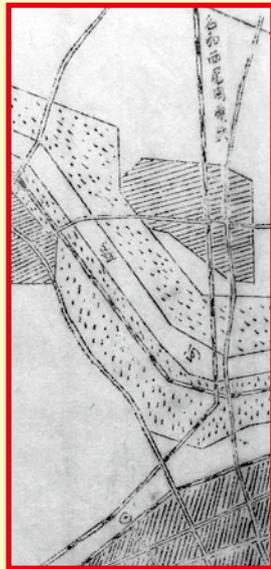
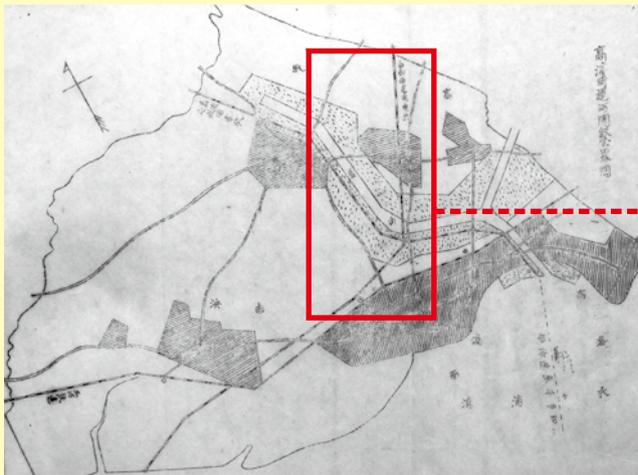
Vol. 23



**高浜の発展を願って**  
**～新運河計画～**



油ヶ淵の排水不良による水害対策として、周辺のまちは明治時代より排水路新設を愛知県に申請していました。大正15年(1926)には、高浜町が愛知県知事に排水改良事業を陳情しています。その後、新排水路である高浜川が昭和6年(1931)に起工し、昭和10年(1935)に竣工しました。  
高浜市立郷土資料館には、大正13年(1924)作成の「高浜町運河開鑿及土地経営會社設立意見書」という資料が保管されています。これは高浜町大字高取の住人2人から提案されたもので、町内の関係者に配布されたと思われる。この意見書に添付された図面内の川は、現在の高浜川と河口部はほぼ同じですが、全体的にやや北側に描かれ、稗田川には南中学校の辺りで合流することになっています。またこの川は「運河」と書かれており、船による物資の輸送や、両岸における工業地帯の創設も提案されています。実際、お年寄りのなかには高浜川のことを「運



河」と呼ぶ方もいて、こういった計画が存在したことを物語るものかもしれません。かつてこの申請書を作成した2人は、高浜の発展を願い、その大きな夢をこの意見書に託していたのでしょう。  
(T・K)

▲高浜町運河開鑿及土地経営會社設立意見書の表紙(写真上)と添付図面(写真下)。図面には運河に加え、三河鉄道を含めた3本の鉄道が描かれています。(高浜市立郷土資料館蔵)

問合せ先 **いきいき文化スポーツグループ** ☎52-1111(内線330)

**高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成**

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす生活習慣・学習習慣を皆さんと共有します。

- 〈めざす年長児〉いろいろなことに興味・関心をもち、やってみます。
- 〈めざす小6生〉友達の考えを大切にし、自分の意見をわかりやすく伝えます。
- 〈めざす中3生〉友達の考えを聞いて、自分の考えに生かします。

**高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト**

**いきいき教育センターグループ** ☎52-1111(内線311)

**2月**  
前向きに  
取り組む子

ポルトガル語は  
27ページ

**LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!**

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。